

社会資本総合整備計画書

(秦野市)

平成29年3月23日

計画の名称	秦野市内の大規模盛土造成地の調査（防災・安全）						重点配分対象の該当	○									
計画の期間	平成29年度～平成30年度（2年間）	交付対象	秦野市														
計画の目標	<p>秦野市では、東海地震、神奈川県西部地震の切迫性が指摘されており、長期的には南関東地震の発生も想定されていることから、建築物の地震に対する安全性の向上を計画的に促進するとともに、基盤となる宅地の安全性についても計画的に向上していくことが求められている。そこで、市域で第一次スクリーニングを行い、大規模盛土造成宅地箇所抽出を行うとともに、マップを作成し公表することで、市民の防災意識を高める。</p>																
計画の成果目標（定量的指標）	<p>秦野市全体面積103.6㎢のうち市所管区域の都市的土地利用を行っている想定面積4.1㎢に対して第一次スクリーニングを行う。</p>																
定量的指標の定義及び算定式							<table border="1"> <tr> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H29年度当初)</th> <th>中間目標値 (H29末)</th> <th>最終目標値 (H30)</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>100%</td> </tr> </table>	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H29年度当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H30)	0%	0%	100%
定量的指標の現況値及び目標値			備考														
当初現況値 (H29年度当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H30)															
0%	0%	100%															
<p>第一次スクリーニングの実施及び大規模盛土造成地マップの作成と公表を行い、第一次スクリーニング結果（大規模盛土造成地マップ）の公表率を指標とする。</p>							<p>・H29年度に第1次スクリーニングを実施しマップを作成し、H30年度に公表を行う。</p>										
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4.6百万円	A	4.6百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%					
交付対象事業																	
A13 市街地整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
I-A-1	防災	一般	秦野市	直接	秦野市	宅地耐震化推進事業	第一次スクリーニング及びマップの作成公表 4.1㎢	秦野市						4.6		-	
合計													4.6		-		
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H29	H30	H31	H32	H33			
小計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備凹地地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H29	H30	H31	H32	H33				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

計画の名称	秦野市内の大規模盛土造成地の調査（防災・安全）			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成29年度～平成30年度（2年間）	交付対象	秦野市		
計画の目標	秦野市では、東海地震、神奈川県西部地震の切迫性が指摘されており、長期的には南関東地震の発生も想定されていることから、建築物の地震に対する安全性の向上を計画的に促進するとともに、基盤となる宅地の安全性についても計画的に向上していくことが求められている。そこで、市域で第一次スクリーニングを行い、大規模盛土造成宅地箇所を抽出を行うとともに、マップを作成し公表することで、市民の防災意識を高める。				

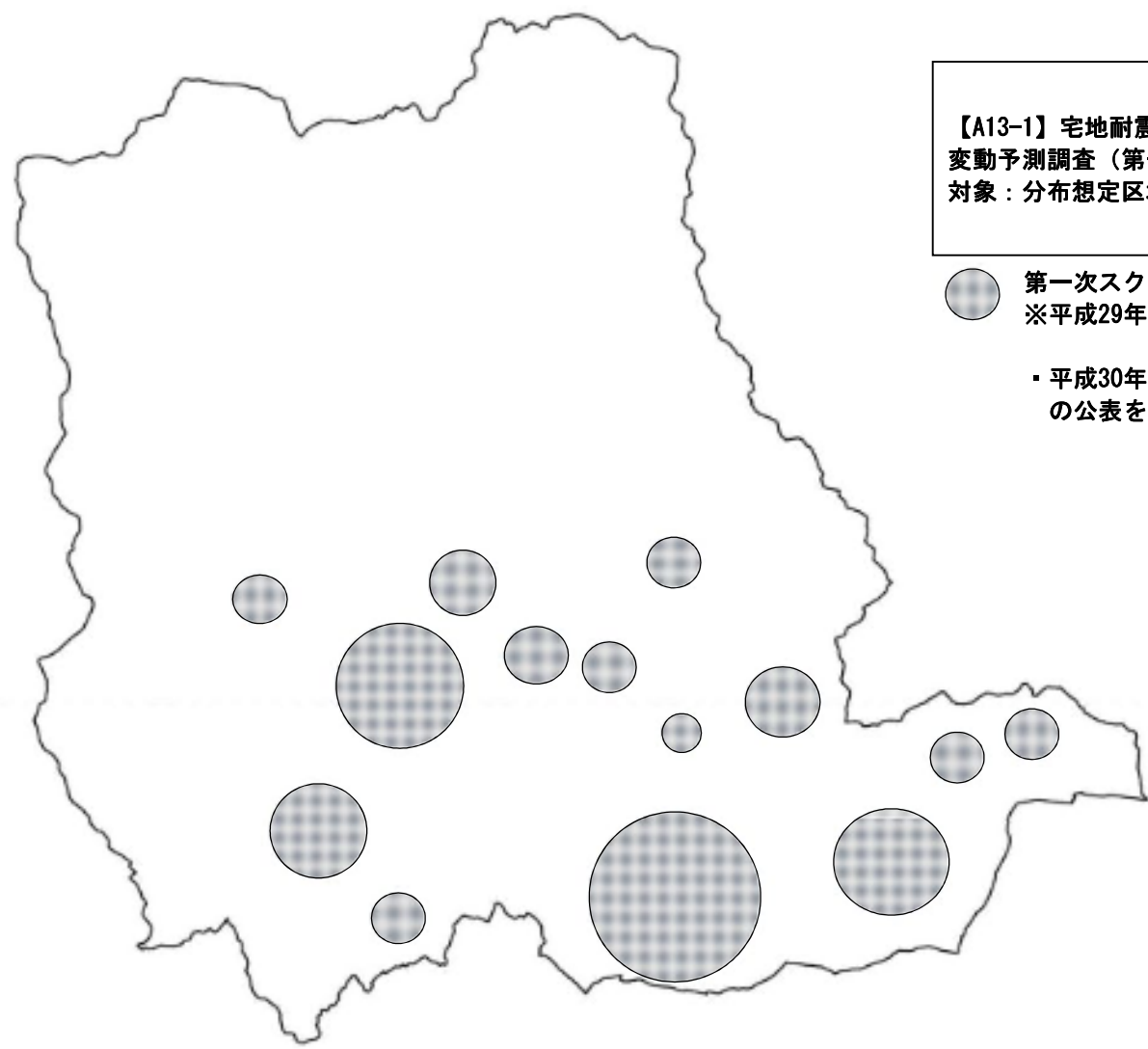
交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	-	-			

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

計画名称	秦野市内の大規模盛土造成地の調査（防災・安全）		
計画の期間	平成29年度 ～ 平成30年度（2年間）	交付対象	秦野市



**【A13-1】 宅地耐震化推進事業
変動予測調査（第一次スクリーニング調査）
対象：分布想定区域（4.1km²）**

● 第一次スクリーニング実施区域（4.1km²）
※平成29年度完了予定

・平成30年度は、大規模盛土造成地分布マップの公表を実施。

社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称: 秦野市内の大規模盛土造成地の調査

都道府県名: 秦野市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○